

プロフィール

2023 年版・核弾頭データ追跡チーム(順不同)

梅林 宏道 (うめばやし ひろみち)

1937 年生まれ。東京大学大学院博士課程修了。工学博士。1980 年、大学教員を辞し、平和運動家・研究者として国際的に活動、NPO 法人ピースデポを設立、現在は特別顧問。RECNA の初代センター長(2012~15 年)。

湯浅 一郎 (ゆあさ いちろう)

NPO 法人ピースデポ代表。1949 年東京都生まれ。1975 年、東北大学大学院理学研究科修士課程修了。元産業技術総合研究所中国センター研究員。専門は海洋物理学。理学博士。著書に「海の放射能汚染」(緑風出版)、「平和都市ヒロシマを問う」(技術と人間)など。

冨塚 明 (とみづか あきら)

元長崎大学水産・環境科学総合研究科 准教授。専門は環境物理学。博士(環境科学)。被爆者問題、核兵器、原子力発電、安全保障などの課題に取り組んでいる。

渡辺 洋介(わたなべ ようすけ)

NPO 法人ピースデポ研究員／大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター客員研究員
慶応義塾大学にて学士および修士号(政治学)を、シンガポール国立大学にて修士(社会学)および博士号(日本研究)を取得。2017 年より大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター客員研究員、2018 年より 2019 年までシンガポール国立図書館リサーチフェロー、2020 年より NPO 法人ピースデポ研究員。

鈴木 達治郎 (すずき たつじろう)

RECNA 副センター長。1951 年生まれ。75 年東京大学工学部原子力工学科卒。78 年マサチューセッツ工科大学プログラム修士修了。工学博士(東京大学)。2010 年 1 月より 2014 年 3 月まで内閣府原子力委員会委員長代理を務めた。核兵器と戦争の根絶を目指す科学者集団パグウォッシュ会議評議員として活動を続けている。

中村 桂子 (なかむら けいこ)

RECNA 准教授。2001 年より 2012 年 3 月まで特定非営利活動法人ピースデポ研究員・事務局長(05~12 年)。2012 年 4 月より現職。平和・軍縮教育関連の多くのプログラムに携わる。近著に「核のある世界とこれからの考えるガイドブック」(2020 年、法律文化社)。